

ハウスプラスすまい保険 認定団体専用

認定団体検査員 現場検査マニュアル



平成24年6月21日制定
平成26年2月12日改訂
平成26年3月20日改訂
平成28年1月27日改訂
平成29年5月22日改訂
平成30年5月22日改訂

ハウスプラスすまい保険 認定団現場検査について

検査の目的

ハウスプラスすまい保険における現場検査は、保険を引き受けるにあたって当該住宅の施工状況を現地で確認することにより、損害発生リスクをコントロールし、住宅瑕疵担保責任保険制度の安定化を図ることを目的としています

このため、現場検査においては、建築基準法などの関係法令及び、「住宅瑕疵担保責任保険設計施工基準」の内容と現場が合致しているかを確認します

通常、現場検査は2回以上（階数による）となりますが、ハウスプラスすまい保険認定団体の場合は、検査のタイミングが限定されやすくその後の工事への影響も大きい基礎配筋検査（1回目検査）を認定団体検査員の皆様が実施することにより、工程等の管理がしやすくなるといったメリットがあります

認定団体検査員の皆様におかれましては、本マニュアルを活用することにより、適正な検査を実施いただきますようお願いいたします

目次

- ・ハウスプラスすまい保険 認定団現場検査について・・・1
- ・認定団体検査フロー1【申込～基礎配筋検査】・・・2
- ・認定団体検査フロー2【基礎配筋検査後の報告等】・・・3
- ・認定団体検査の報告方法について・・・4～6
- ・検査の際に必要なもの・・・7
- ・検査図書の確認・・・8
- ・届出事業者専用ホームページについて・・・9、10
- ・「設計施工確認シート」の種類・・・11
- ・「設計施工確認シート」の記載（木造/RC・S・SRC造 共通）・・・12



★木造 基礎検査★

- ・設計施工確認シート【基準の早見表】（木造 基礎検査）・・・13
- ・設計施工確認シート【解説】（木造 基礎検査-1）・・・14
- ・設計施工確認シート【解説】（木造 基礎検査-2）・・・15
- ・設計施工確認シート【解説】（木造 基礎検査-3）・・・16

★RC・S・SRC造 基礎検査★

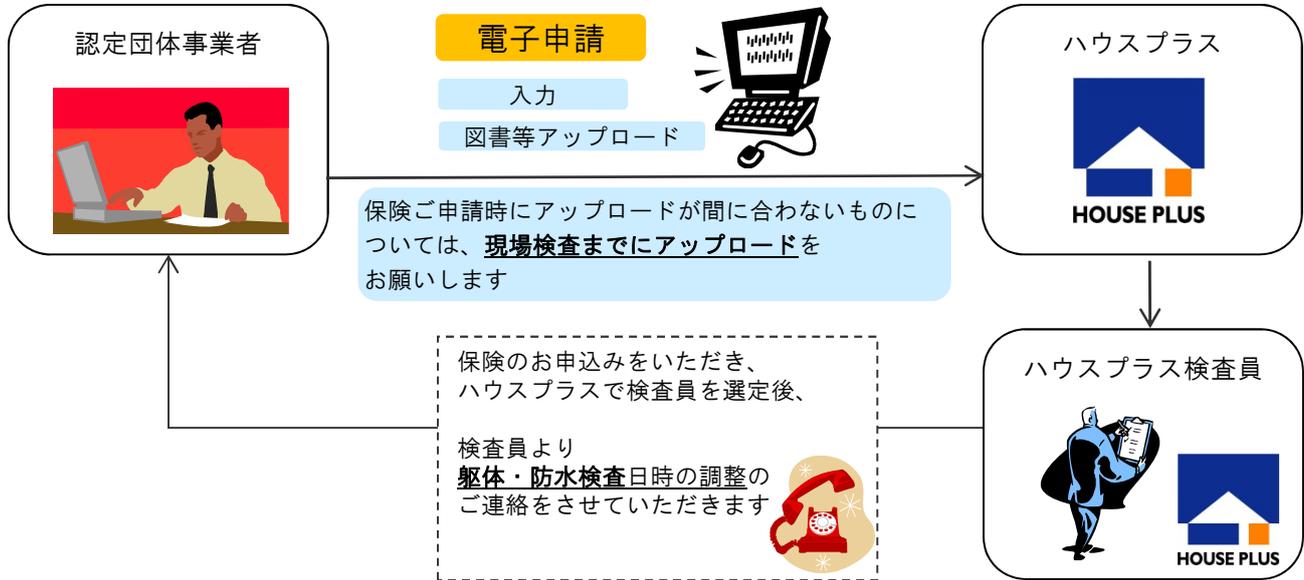
- ・設計施工確認シート【基準の早見表】（RC・S・SRC造 基礎検査）・・・17
- ・設計施工確認シート【解説】（RC・S・SRC造 基礎検査-1）・・・18
- ・設計施工確認シート【解説】（RC・S・SRC造 基礎検査-2）・・・19
- ・設計施工確認シート【解説】（RC・S・SRC造 基礎検査-3）・・・20
- ・設計施工確認シート【解説】（RC・S・SRC造 基礎検査-4）・・・21
- ・「現地調査チェックシート」の確認・・・22
- ・「基礎設計のためのチェックシート」の確認・・・23
- ・お問い合わせ先・・・24

認定団体検査フロー 1 【申込～基礎検査事前準備】

【申込～基礎検査事前準備】までの認定団体検査のフローは以下となります

① 申込

：認定団体検査員のみなさまに作業いただく項目となります



■ 認定団体検査を行う際の注意事項 ■

認定団体検査員による基礎配筋検査（1回目検査）は、必ず保険のご申請後に行ってください。
 万が一保険ご申請前に認定団体検査を実施した場合、団体検査は無効となりますのでご注意ください。
 ＊検査が無効となった場合、当社検査員による検査が必要となります（現場状況により非破壊検査となることがあり、検査料が通常より割高となります）。

認定団体検査員



② 検査事前準備

「**基礎【認定団体検査用】の設計施工確認シート**」を届出事業者専用ホームページから**ダウンロード**してください

認定団体検査時にダウンロードした**基礎の設計施工確認シート**を持参してください

★注意★

基礎のみ**認定団体検査用の設計施工確認シート**を使用してください



◆基礎配筋検査 (認定団体検査)

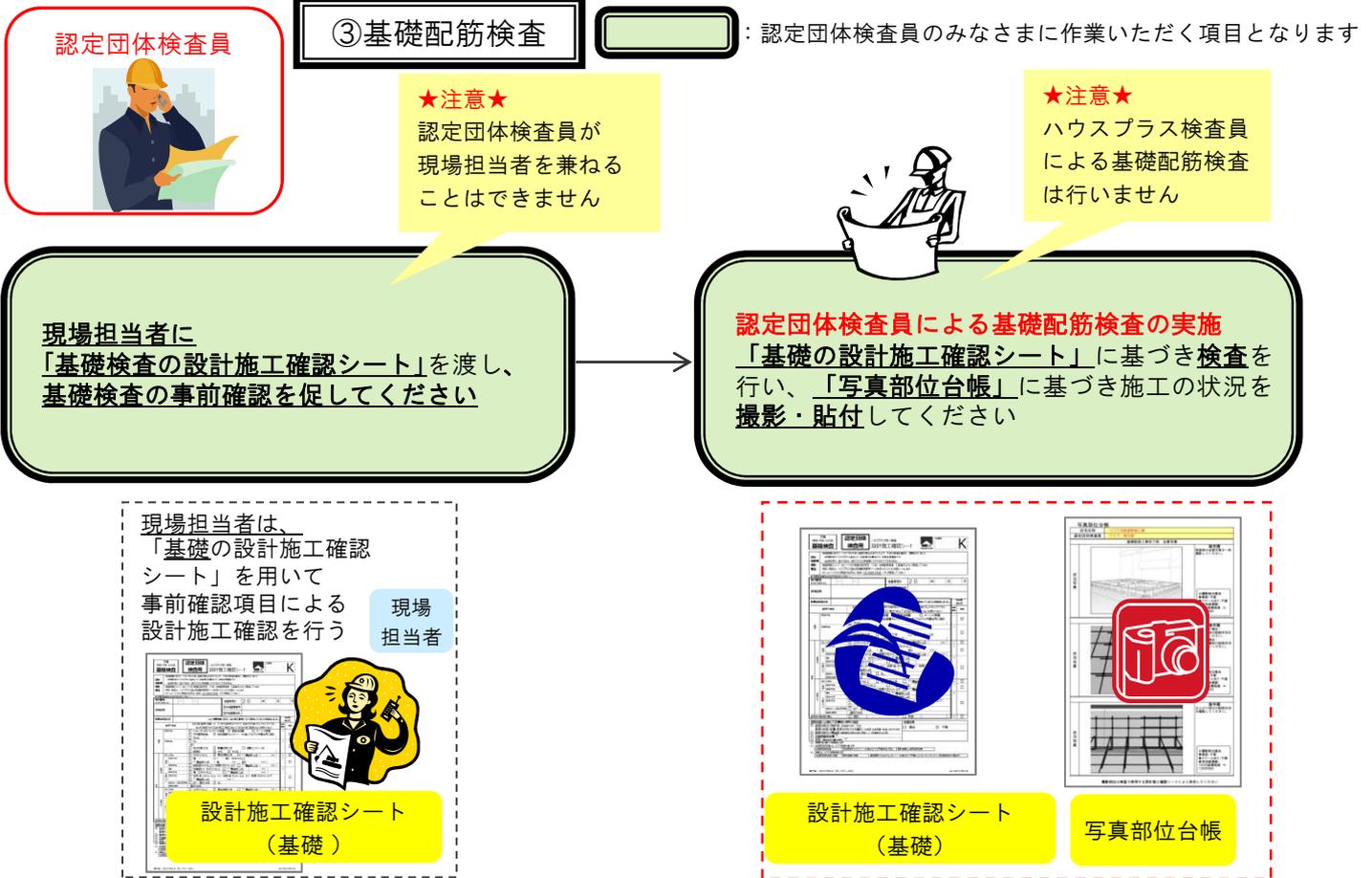
認定団体検査員による検査。
認定団体検査用の基礎設計施工確認シートにて検査実施。

◆躯体・防水検査 (ハウスプラス検査)

ハウスプラス検査員による検査。躯体・防水の設計施工確認シートにて検査実施。

認定団体検査フロー 2 【基礎配筋検査後】

【基礎配筋検査～検査報告】についての認定団体検査のフローは以下となります



重要

④団体検査結果報告

認定団体基礎検査実施後、**3営業日以内**にハウスプラスへ基礎検査結果を必ず報告してください

◆報告方法

デカメール報告

右記の報告書類をデカメールを利用し報告してください

※デカメール報告方法の詳細については次ページ参照

報告書類はPDF等データ化願います

※メール報告できない場合に限り下記までFAX報告してください

FAX 『03-6866-5945』

◆報告書類

設計施工確認シート (基礎)

写真部位台帳

原本

※認定団体検査報告後、ハウスプラスにて検査内容について確認させていただきます。検査内容に不明な点があれば認定団体検査員様へ問合せさせていただきます。

基礎検査の報告がされていない物件はハウスプラス検査員による躯体・防水検査を受けることができませんのでご注意ください。

ハウスプラス検査員



躯体・防水検査

ハウスプラスにて認定団体検査結果確認後、ハウスプラス検査員による躯体・防水検査を実施します。

※基礎検査の報告がされていない物件は躯体・防水検査を受けることができませんのでご注意ください。

「躯体・防水の設計施工確認シート」を用いて躯体・防水検査を実施します。

設計施工確認シート (躯体・防水)



🌀 認定団体検査の報告方法について

認定団体検査実施後、**3営業日以内**にハウスプラスへ基礎検査結果を報告してください。
報告は届出事業者様専用ページ左側の団体検査報告ボタンから報告をお願いいたします。

団体検査報告ボタンからの報告

ハウスプラスホームページの届出事業者様専用ページへアクセスしてください。



届出事業者様専用ページ ユーザー名: sumaihoken
パスワード: 20080801

※直接報告ページへアクセスする場合のURLは下記となります。

<https://www.decmail.jp/mail/nyukou.cgi?id=7989f1ae605308cefcef1338ec127f0f>

②届出事業者様専用ページ左側の団体検査報告ボタンをクリック



報告の手順

報告は以下①～⑥の手順で行ってください



ハウスプラス住宅保証株式会社

メール送信 | send email

入力 ▶ 確認 ▶ 完了

本ページは認定団体プランの基礎検査報告専用のページとなります。
下記を添付ファイルにてご報告をお願いします。
・設計施工確認シート(基礎)
・写真台帳
※原則! 上記以外のファイル添付は行わないで下さい。

送信元情報

会社名・部署(必須)
本報告物件の届出事業者様名をご記載ください。

お名前(必須)
本報告物件の検査を行った団体検査員様名をご記載ください。

メールアドレス(必須)
上記アドレス宛てに受信後【自動返信メール】が配信されます。また、不備があった場合に上記メールに別途連絡させていただきますので必ず連絡の取れるメールアドレスをご記載ください。

送信元情報を保存 保存する

宛先情報

宛先名

メール送信内容

件名(必須)
!!!重要!!! 上記○○○○に物件名をご入力ください

報告担当者
※受信後の【自動返信メール】や不備があった場合の連絡は「送信元情報」のメールアドレスに送信されます。

添付ファイル(必須) 最大1のファイル
ファイル1:
ファイル2:

※添付ファイルの拡張子は必ず「pdf、tif、tiff、xls、xlsx」のいずれかをお願いします。
※.pdf推奨

本報告物件について、基礎検査を行った認定団体検査員が、本報告物件の設計者、工事監理者、工事施工者、現場担当者 のいずれとも兼ねていないことを確認いたしました。

上記内容に同意します

①送信元情報の入力

- ・団体検査員様の所属する【会社名】
- ・団体検査員様の【お名前】
- ・団体検査員様メールアドレス

※保存する にチェックを入れると次回から送信元情報の入力は省略できます。

②メール送信内容の入力

- ・件名の物件名称
- ・報告担当者様の情報

※報告内容に不備がある場合はご連絡させていただきます。

③検査報告書類データの添付

- ・設計施工確認シート(基礎)
- ・写真部位台帳(3枚)

※データは1ファイルにつき1物件までの添付としてください。
※PDFデータ推奨

※添付ファイルは9.63MBを超えると送信できません。

⑤確認画面の表示

④認定団体検査員様は検査物件の設計者、工事監理者、工事施工者、現場担当者を兼ねることは出来ません。

検査報告完了の確認



メール送信 | send email

入力 → **確認** → 完了

まだ送信は完了していません！
以下の内容でよろしければ、送信ボタンを押してください。

送信

送信元情報

会社名・部署(必須)	ハウス検査株式会社
お名前(必須)	検査 太郎
メールアドレス(必須)	y.takahashi@houseplus.co.jp

宛先情報

宛先名	認定団体検査報告
-----	----------

メール送信内容

件名(必須)	〇〇〇〇様邸新築工事
報告担当者	※認定団体検査員の代理の方が報告、対応される場合にご記入下さい。 会社名(必須) : 担当者氏名(必須) : 電話番号 :

添付ファイル

添付ファイル_01	
ファイル名	1-15-〇〇〇〇〇検査太郎基礎シート.pdf
ファイルサイズ	62.25 KB
添付ファイル_02	
ファイル名	1-15-〇〇〇〇〇検査太郎写真台帳.pdf
ファイルサイズ	62.25 KB

送信 戻る

⑥確認画面での送信前確認

入力内容に間違いがないことを確認
「送信」ボタンから送信してください。
間違いがある場合は「戻る」ボタンより
入力画面に戻り修正をお願いします。

検査 太郎 様
件名：【自動配信】メール受信のご連絡

この度はハウスプラスすまい保険をご利用いただき、誠にありがとうございます。

認定団体検査結果の報告メールを受領いたしました。これから、ハウスプラスによる検査内容の検取作業を行います。万一、不備・不明点等ございましたら別途ご連絡させていただきます。よろしくお願いたします。

件名：〇〇〇〇様邸新築工事

【報告担当者】
※認定団体検査員の代理の方が報告、対応される場合にご記入下さい。
会社名(必須) :
担当者氏名(必須) :
電話番号 :

[File.1]
NAME :1-15-〇〇〇〇〇検査太郎基礎シート.pdf
ID :2310788
No. :000004-01
SIZE :62.25 KB

[File.2]
NAME :1-15-〇〇〇〇〇検査太郎写真台帳.pdf
ID :2310789
No. :000004-02

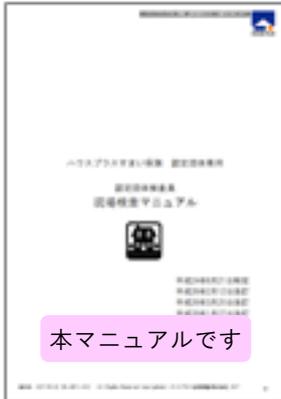
自動配信メールでの確認

送信元情報に入力されたメールアドレスへ
検査報告受信の連絡メールが入ります。

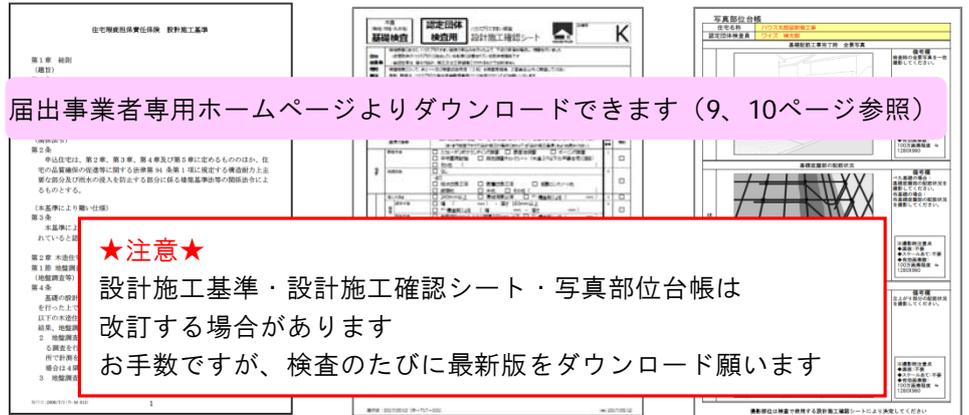


検査の際に必要なもの

基礎配筋検査において、必要なものは以下となります



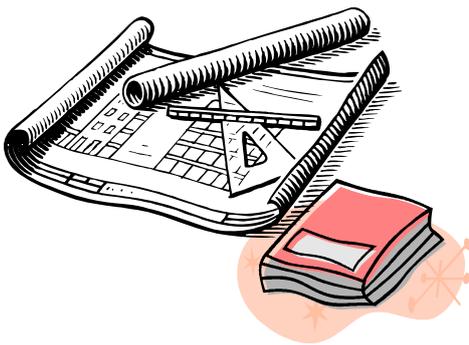
現場検査マニュアル



設計施工基準

設計施工確認シート
(基礎【認定団体検査用】
躯体・防水)

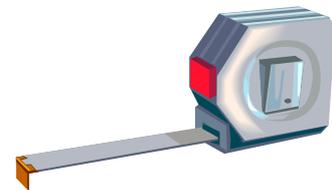
写真部位台帳



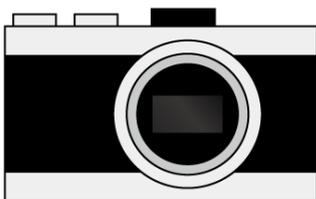
検査図書 (8 ページ参照)
・ 地盤調査に関する書類
・ 基礎の状況に関する資料



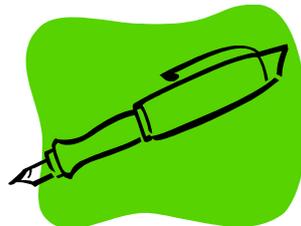
ヘルメット



メジャー
(コンベックス)



デジタルカメラ



筆記具



✂ 検査図書の確認

基礎配筋検査で確認する図書は以下となります

(設計施工確認シート (基礎検査) 下部にチェック欄があります)



: 認定団体検査員のみなさまに作業いただく項目となります

基礎配筋検査で確認する図書

基礎配筋検査で確認する図書は、以下1. ~3. となります

これらの図書は、ハウスプラスへの保険ご申請時 (電子申請) にアップロードが必要となっています (内容によっては、これ以外にも必要な場合がありますので、設計施工確認シートに沿って確認してください)

1. 地盤調査報告書として、次のいずれか

- a: 地盤調査報告書
- b: 現地調査チェックシート (※1)
(木造2F以下の戸建住宅の場合のみ可)
- c: 設計者等による調査報告等

2. 考察として、次のいずれか

- (RC造などで構造計算している場合は不要です)
- a: 地盤調査報告書の考察
- b: 設計者等の考察
- c: 基礎設計のためのチェックシート (※2)
(木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合のみ可)

3. 基礎の状況に関する資料として、次のいずれか

- a: 基礎伏図及び矩計図 (断面図でも可)
- b: 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料 (平面図および立面図等へ記載したもので可)
- c: 基礎伏図及び構造図 (建築基準法第6条第1項1・2・3建築物は必須)



※1 現地調査
チェックシート

※2 基礎設計のための
チェックシート

設計施工確認シート
(基礎【認定団体検査用】)



★注意★
認定団体検査員が
現場担当者を
兼ねることはできません

現場
担当者

現場担当者は、
基礎配筋検査において、
・地盤調査に関する書類
・基礎の状況に関する資料
を用意します



認定団体検査員



書類の有無について、
現場担当者をご確認いた
だきチェックをお願いします

拡大

基礎検査に必要な下記書類の有無の確認	検査結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基礎伏図及び矩計図 (断面図でも可) 又は 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料 (平面図・立面図等へ記載したもので可)	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適
<input type="checkbox"/> 基礎伏図及び構造図 [建築基準法第6条第1項1・2・3号建築物は必須]	
<input checked="" type="checkbox"/> 地盤調査報告書 ※2	
<input checked="" type="checkbox"/> 考察 (基礎形式の選択根拠) ※3	

届出事業者専用ホームページについて

【届出事業者専用ホームページ】より、検査に必要な各帳票をダウンロードできます

届出事業者専用ホームページ



★注意★

各帳票は改訂する場合があります
お手数ですが、検査のたびに
最新版をダウンロード願います

イル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ハウスプラス住宅保証株式会社
国土交通大臣登録住宅性能評価機関
国土交通大臣指定住宅瑕疵担保責任保険法人
採用情

HOME | かし保険 | 評価・審査 | その他の業務 | ダウンロード | 会社情報

HOME > 新築瑕疵保険 > 届出事業者様専用ページ

新築瑕疵保険向け **届出事業者様専用ページ** ログイン中

各種書類のダウンロード

画面をスクロール

ご利用になるアイコンの上で右クリックをして、「対象をファイルに保存」を選択していただき、お使いのPCのデスクトップ等に一旦保存してからご利用下さい。

サービスを選択してください

選択してください
新築瑕疵保険

中分類

- パンフレット・重要事項説明書・料金
- マニュアル等説明資料
- 提出書類 (保険申込時に必要)
- 提出書類 (証券発行依頼までに必要)
- 提出書類 (適用除外)
- 検査関係
- 検査関係 (性能評価付)
- 検査関係 (認定団体)
- 申込内容の変更・撤回
- 約款
- 事業者届出 (登録) 関係
- 事故報告

※該当する資料の区分にチェックを入れてください

検索する

カーソルを合わせてプルダウンで「新築瑕疵保険」を選択してください。

必要な個所にチェックを入れ、「検索する」ボタンを押してください。

新築瑕疵保険

パンフレット・重要事項説明書・料金

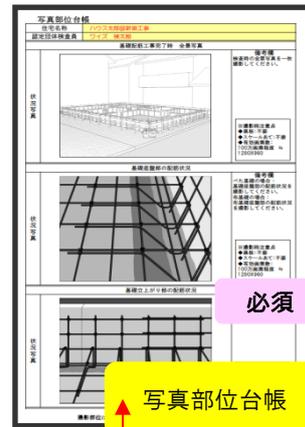
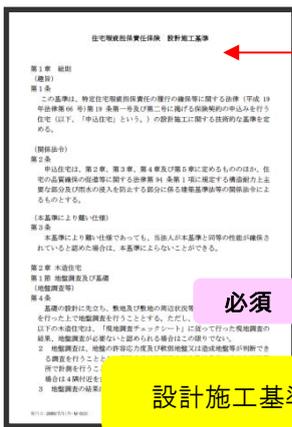
NO	資料名	備考	掲載日	ダウンロード	システム管理番号
1	ハウスプラスすまい保険 パンフレット		2018-04-10		1926
2	ハウスプラスすまい保険 特約のご案内		2018-04-10		1927
3	ハウスプラスすまい保険 料金表		10		1928
4	重要事項説明書 (届出事業者様向け)		2016-11-18		1929
5	契約内容のお知らせ (住宅取得者様向け) ※動画	「住宅瑕疵担保責任保険」について、重要事項を説明する動画です。(wmv 形式・ウインドウズ・メディアプレイヤーが必要です)	2011-12-22		1930
6	契約内容のお知らせ (住宅取得者様向け) ※資料	「住宅瑕疵担保責任保険」について、重要事項を記載した資料です。注：2009年6月30日以前の申込分は、上記【ご注意】をご覧ください。	2017-06-01		1931
7	特約のお知らせ (住宅取得者様向け)		2011-07-13		1932
8	不同床下と普通床特約パンフレット		2017-12-21		1933

各種ダウンロードファイルが表示されます。

新築瑕疵保険

検査関係

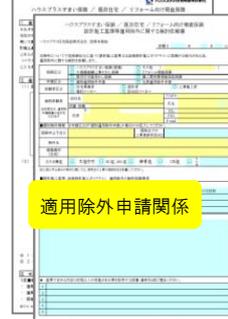
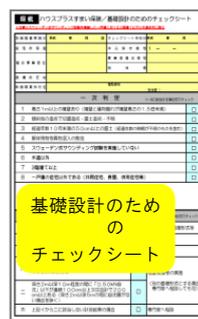
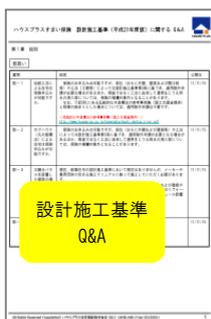
NO	資料名	備考	掲載日	ダウンロード	システム管理番号
1	ハウスプラスすまい保険 設計施工基準		2009-06-30		193
2	ハウスプラスすまい保険 設計施工基準Q&A		2017-11-13		196
3	ハウスプラスすまい保険 現場検査Q&A		2011-12-09		199



検査関係 (認定団体)

NO	資料名	備考	掲載日	ダウンロード	システム管理番号
1	【ご案内】認定団体検査の報告方法について		2018-05-16		1900
2	設計施工確認シート (認定団体用_木造基礎用)		2017-10-23		1901
3	設計施工確認シート (認定団体用_非木造基礎用)		2017-10-23		1902
4	写真台帳 (認定団体 基礎検査)		2010-08-04		1903

必要に応じて



設計施工確認シートの種類

ハウスプラスすまい保険設計施工基準に適合しているかを現場確認するシートです
建物構造及び検査に応じたシートを組み合わせで使用してください

「設計施工確認シート」の種類 全12種類

		保険申込上 構造区分	設計施工確認シート								
			基礎		躯体					防水	
木造	軸組構法（在来工法）	木造軸組			B						
	枠組壁構法（2×4工法）	木造枠組	A	K	C					D	
	丸太組構法	その他・混構造				I					
鉄骨造（S造）	重量鉄骨構造	鉄骨造（S造）									
	軽量鉄骨構造	鉄骨造（S造）									
鉄筋コンクリート造（RC造）		鉄筋コンクリート造（RC造）					G				
鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）		鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）	F	L						H	
コンクリート充填鋼管構造（CFT造）		その他・混構造等									
補強コンクリートブロック造（CB造）		その他・混構造等						J			

基礎の設計施工確認シート「K・L」は認定団体検査用です

★注意★
各帳票は改訂する場合がございます。
都度、検査の度に最新版をダウンロード願います。

認定団体検査員

届出事業者専用ホームページより
最新版をダウンロードしてください
(9、10ページ参照)

たとえば、2階建ての木造軸組構法の場合、
基礎【認定団体検査用】：K、が必要になります

設計施工確認シートの記載 (例: 木造軸組・枠組・丸太組)

認定団体検査用のシートであることを確認してください

点線内は、現場担当者に記入いただく箇所です

検査員番号および署名

当該物件に該当箇所がない項目なのか、設計施工基準に該当し適合を確認すべき項目なのか検査員が判断してください。

目視・ヒアリング等により設計施工基準に適合している事を確認した場合

該当箇所がない項目

よって、検査員確認欄はいずれかのチェックが必ず入ります。

木造 (軸組・枠組・丸太組) 基礎検査		認定団体検査用 ハウスプラスすまい保険 設計施工確認シート		検査員 K	
現場検査にあたり、ハウスプラスすまい保険の申込みを行った上で、下記の内容を確認し、検査を行いました。 ・認定団体がハウスプラスに提出している名簿に記載されている団体検査員です ・当該住宅は、自ら設計・施工又は工事監理にかかわるものではありません 検査結果について、本シート及び検査記録書(3枚)を検査実施後、3営業日以内に報告してください 原則、報告は、ハウスプラスの届出検査者検索用ページを至けのリンクよりお願いいたします (ホームページからの報告が出来ない場合、03-6866-5945へFAX報告してください)					
交付番号 <small>※記入は不要です</small>	-	検査年月日 20 年 月 日			
住宅名称	団体検査員番号				
	団体検査員氏名				
現場担当者氏名 ハウス太郎	⇒ 現場検査にあたり、設計施工基準について適合していることを確認しました。				
基礎検査項目 (※1)					
基礎 基礎の項目	検査方法 <input type="checkbox"/> スウェーデン式サウンディング調査 <input type="checkbox"/> 表面探査 <input type="checkbox"/> ボーリング調査 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input type="checkbox"/> 現地調査チェックシート (木造2F以下の戸建住宅に限る) <input type="checkbox"/> その他 ()			<input checked="" type="checkbox"/>	
	地盤改良 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり				<input checked="" type="checkbox"/>
柱 柱の項目	柱径 <input type="checkbox"/> 240mm以上 <input type="checkbox"/> 炭素深度以深 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input checked="" type="checkbox"/>
	柱間隔 <input type="checkbox"/> 幅 (mm) ・ 厚さ 150mm以上 <input checked="" type="checkbox"/> ※1 構造図による (幅 mm ・ 厚さ mm)				<input checked="" type="checkbox"/>
	柱の位置 <input type="checkbox"/> 鉄筋径9mm以上かつ間隔300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm) <input checked="" type="checkbox"/> 地盤面から 300mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input checked="" type="checkbox"/>
	柱の位置 <input type="checkbox"/> 幅 120mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm) <input checked="" type="checkbox"/> 主筋径 12mm以上 かつ 縦筋径 9mm以上 かつ 間隔 300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input checked="" type="checkbox"/>
	柱の位置 <input type="checkbox"/> あり: 適切である <input type="checkbox"/> なし 柱の位置 ・適切である				<input checked="" type="checkbox"/>
	柱の位置 <input type="checkbox"/> 120mm以上 <input type="checkbox"/> 炭素深度以深 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm) <input checked="" type="checkbox"/> 厚さ 120mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input type="checkbox"/>
梁 梁の項目	梁径 <input type="checkbox"/> 鉄筋径9mm以上かつ間隔300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm) <input checked="" type="checkbox"/> 地盤面から 300mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input type="checkbox"/>
	梁の位置 <input type="checkbox"/> 幅 120mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm) <input checked="" type="checkbox"/> 主筋径 12mm以上 かつ 縦筋径 9mm以上 かつ 間隔 300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)				<input type="checkbox"/>
	梁の位置 <input type="checkbox"/> あり: 適切である <input type="checkbox"/> なし 梁の位置 ・適切である				<input type="checkbox"/>
建築外施検査の項目 <input type="checkbox"/> 傾斜 () <input type="checkbox"/> 包接 ()					
基礎検査に必要な下記書類の有無の確認 <input type="checkbox"/> 基礎伏図及び配筋図 (※2) または <input type="checkbox"/> 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料 (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) <input type="checkbox"/> 基礎伏図及び構造断面図 (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) <input type="checkbox"/> 地盤調査報告書 (※2) <input type="checkbox"/> 写真 (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7)			検査結果 <input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適		
※1 構造計画に基づき検査項目とする ※2 地盤調査報告書は、以下の内容を記載します 地盤調査報告書 現地調査チェックシート (木造2F以下の戸建住宅に限る) 設計図書による調査報告書 ※3 写真は、以下の内容を撮影します 地盤調査報告書の写真 設計図書の写真 基礎設計のDwgのチェックシート (木造2F以下戸建かつスウェーデン式サウンディング試験実施者の場合)					
発行日: 2017/05/12 (外-T17-031)		ver 2017/05/12			

設計施工確認シート【基準の早見表】（木造 基礎検査）

設計施工確認シートにおける「設計施工基準」の早見表は以下となります

木造 基礎検査

基準の項目		判定方法	設計施工基準	建築基準法関係法令	
地盤	地盤調査	調査方法	提出図書 地盤調査報告書の確認	4条	—
		調査報告書の考察等	調査報告書から考察の有無および内容を確認	5条 1	—
	地盤改良	地盤改良	地盤改良の有無	5条 2	—
		杭・地盤改良	杭・地盤改良がある場合の仕様の確認	5条 1	—
基礎形式	形式	基礎形式の確認	2条※1	令38条 / ※2 H12告1347 第1 1	
	根入れ	深さの確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 べた：3 四 布：4 一	
底盤	布基礎	躯体寸法	幅と厚みの確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 4 一・二
		配筋方法	鉄筋径と間隔の確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 4 三
	べた基礎	躯体寸法	厚さの確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 3 三
		配筋方法	鉄筋径と間隔の確認	6条 2	※2 H12告1347 第1 3 五 ハ
立上り部分	高さ	高さの確認	6条 3	※2 H12告1347 第1 べた：3 三 布：4 一	
	躯体寸法	幅の確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 べた：3 三 布：4 一	
	配筋方法	主筋径・縦筋径・間隔の確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 べた： 3 五 イロ 布：4 一	
	換気口・人通口周り補強	換気口等の補強の確認	2条※1	※2 H12告1347 第1 べた： 3 五 二 布：4 一	
	鉄筋の継ぎ手	継ぎ手状況の確認	2条※1	(公庫基準以上 推奨)	

※1
設計施工基準（関係法令）
第2条
申込住宅は、第2章、第3章、第4章及び第5章に定めるもののほか、住宅の品質確保の促進等に関する法律第94条第1項に規定する構造耐力上主要な部分及び雨水の浸入を防止する部分に係る建築基準法等の関係法令によるものとする。

※2
平成12年5月23日 建設省告示第1347号
建築物の基礎の構造方法及び構造計算の基準を定める件

設計施工確認シート【解説】 (木造 基礎検査-2)

木造の基礎配筋検査における基礎形式・底盤・立上り部分の確認は、以下のとおりとします

基礎	基礎形式	布基礎		No.	確認項目	
		③	④			
基礎	布基礎	根入れ深さ	<input type="checkbox"/> 240mm以上 <input type="checkbox"/> 凍結深度以深 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)	3	<input type="checkbox"/>	
		底盤	躯体寸法	<input type="checkbox"/> 幅 (mm) ・ 厚さ 150mm以上	4	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> ※1 構造図による (幅 mm ・ 厚さ mm)			
		立上り部分	配筋方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋径9mm以上かつ間隔300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)	5	<input type="checkbox"/>
			高さ	<input type="checkbox"/> 地盤面から 300mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)		
		べた基礎	底盤	躯体寸法	<input checked="" type="checkbox"/> 幅 120mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)	6
	配筋方法			<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋径9mm以上かつ間隔300mm以下 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)	7	<input checked="" type="checkbox"/>
	立上り部分		高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤面から 300mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)	8	<input type="checkbox"/>
			躯体寸法	<input checked="" type="checkbox"/> 幅 120mm以上 <input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)		
	立上り部分		配筋方法	<input checked="" type="checkbox"/> 主筋径 12mm 以上 かつ 縦筋径 9mm 以上 かつ 間隔 300mm 以下		
			<input type="checkbox"/> ※1 構造図による (mm)			
	換気口・人通口追加	<input checked="" type="checkbox"/> あり：適切である <input type="checkbox"/> なし				
鉄筋の継手	・適切である					

現場担当者



チェック方法は
12ページ参照

認定団体検査員

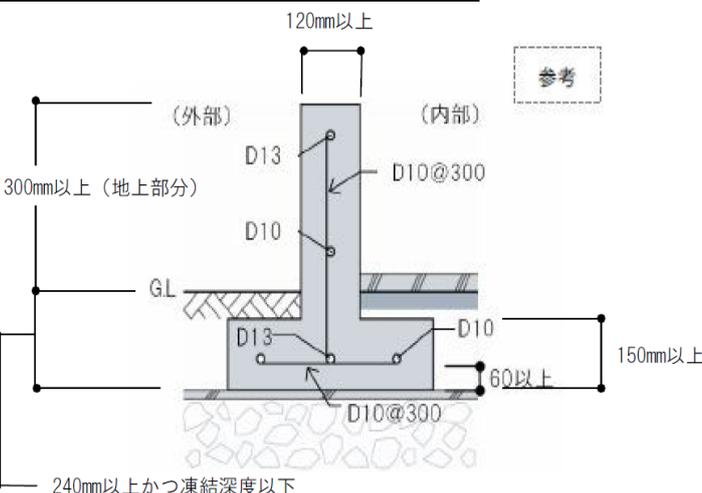


地盤調査報告書の考察における布基礎・べた基礎等の基礎選定と実地工事が整合しているか確認します

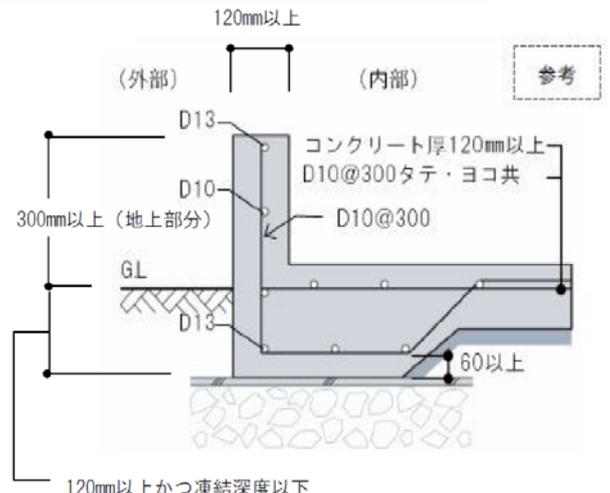
③④ 布基礎・べた基礎の各部寸法等が下図以上となっているか確認します

また、下図は建築基準法上の構造計算が不要な場合になりますので、建築基準法第6条第1項第1・2・3号建築物の場合は構造図の通りとなっているか確認します
(ハウスプラスすまい保険設計施工基準 (平成21年度版) に関するQ&A_Q6-1・6-2)

平成12年建設省告示1347号第1による場合 (布基礎)



平成12年建設省告示1347号第1による場合 (べた基礎)



設計施工確認シート【解説】 (木造 基礎検査-3)

木造の基礎配筋検査における書類の確認は、以下のとおりとします

⑤

基礎検査に必要な下記書類の有無の確認	検査結果						
<input type="checkbox"/> 基礎伏図及び矩計図 (断面図でも可) 又は 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料 (平面図・立面図等へ記載したもので可) <input type="checkbox"/> 基礎伏図及び構造図 [建築基準法第6条第1項第1・2・3号建築物は必須] <input type="checkbox"/> 地盤調査報告書 ※2 <input type="checkbox"/> 考察 (基礎形式の選択根拠) ※3	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適						
※1 構造計算に基づく構造図とします ※2 地盤調査報告書とは、以下の図書を指します <table border="1"> <tr> <td>地盤調査報告書</td> <td>現地調査チェックシート (木造2F以下の戸建住宅に限る)</td> <td>設計者等による調査報告等</td> </tr> </table> ※3 考察とは、以下の図書を指します <table border="1"> <tr> <td>地盤調査報告書の考察</td> <td>設計者等の考察</td> <td>基礎設計のためのチェックシート (木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合可)</td> </tr> </table>	地盤調査報告書	現地調査チェックシート (木造2F以下の戸建住宅に限る)	設計者等による調査報告等	地盤調査報告書の考察	設計者等の考察	基礎設計のためのチェックシート (木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合可)	
地盤調査報告書	現地調査チェックシート (木造2F以下の戸建住宅に限る)	設計者等による調査報告等					
地盤調査報告書の考察	設計者等の考察	基礎設計のためのチェックシート (木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合可)					

認定団体検査員



チェック方法は
1 2 ページ参照

⑤

基礎検査に必要な書類の確認をします (8 ページと同じ)

基礎配筋検査で確認する図書

基礎配筋検査で確認する図書は、以下1. ~3. となります

これらの図書は、ハウスプラスへの保険ご申請時 (電子申請) にアップロードが必要となっています (内容によっては、これ以外にも必要な場合がありますので、設計施工確認シートに沿って確認してください)

- 地盤調査報告書として、次のいずれか
 - 地盤調査報告書
 - 現地調査チェックシート (※1)
(木造2F以下の戸建住宅の場合のみ可)
 - 設計者等による調査報告等
- 考察として、次のいずれか
(RC造などで構造計算している場合は不要です)
 - 地盤調査報告書の考察
 - 設計者等の考察
 - 基礎設計のためのチェックシート (※2)
(木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合のみ可)
- 基礎の状況に関する資料として、次のいずれか
 - 基礎伏図及び矩計図 (断面図でも可)
 - 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料 (平面図および立面図等へ記載したもので可)
 - 基礎伏図及び構造図 (建築基準法第6条第1項第1・2・3号建築物は必須)



※1 現地調査
チェックシート

※2 基礎設計のための
チェックシート



設計施工確認シート【基準の早見表】(RC・S・SRC造 基礎検査)

設計施工確認シートにおける「設計施工基準」の早見表は以下となります

RC造・S造・SRC造 基礎検査

基準の項目		判定方法	設計施工基準	建築基準法関係法令	
基礎	地盤	調査方法	提出図書 地盤調査報告書の確認	12条1, 2, 3	—
	直接基礎	基礎形式	基礎形式の確認	2条 ^{※1} , 13条	令38条
		地盤改良	地盤改良の有無 地盤改良がある場合の仕様の確認	12条4	—
	杭基礎	杭種	杭種の確認	2条 ^{※1} , 13条	令38条
		杭の仕様・施工確認	杭工事施工結果報告書から「杭位置」「杭頭レベル」「杭径」「杭長」の一致の確認	2条 ^{※1} , 13条	令38条
		杭芯ずれの確認	杭芯ずれの確認 補強の要否と補強方法の確認	2条 ^{※1} , 13条	令20条
	配筋	位置・形状	部材の配置と寸法・形状の確認	2条 ^{※1} , 13条	令20条
		鉄筋	ミルシート・メタルタグとの照合による種類確認 径・本数・間隔の確認 定着長さの確認 鉄筋端部フック処理の確認 継手状況の確認 貫通孔の補強の状況の確認	2条 ^{※1} , 13条	法37条 ^{※2} H12告1446 法20条 令73条 令73条 ^{※3} H12告1463 法20条
		最小かぶり厚さ	規定のかぶり厚以上であることの確認	2条 ^{※1} , 13条	令79条
		圧接継手の品質確認	引張試験または超音波探傷試験および外観検査の結果の確認	2条 ^{※1} , 13条	令73条 ^{※3} H12告1463
	コンクリート	配合計画書の確認	配合計画の確認 セメントの種類・呼び強度の確認	2条 ^{※1} , 13条	法37条 ^{※2} H12告1446 令74条3
		圧縮強度試験の成績書	圧縮強度試験結果の確認	2条 ^{※1} , 13条	令74条 ^{※4} S56告1102
	S造・SRC造	アンカーボルト		位置・方向の確認、鋼材の種類・径の確認、 本数・長さの確認	2条 ^{※1}
鉄骨		鉄骨	鋼材の種類・厚さ・寸法の確認 鉄骨部材の加工寸法精度の確認 工場溶接部の非破壊検査結果の確認 現場溶接部の非破壊検査結果の確認	2条 ^{※1}	法37条 ^{※2} H12告1446 JASS6 法67条 ^{※6} H12告1464 法67条 ^{※6} H12告1464
		建入強度確認	鉄骨建入検査結果の確認	2条 ^{※1}	JASS6
高力ボルト		ミルシートとの照合による種類の確認 締め付け状況の確認	2条 ^{※1}	法67条 ^{※6} H12告1464	
S造	柱脚部	露出柱脚	アンカーボルトの基礎への定着状況の確認	2条 ^{※1}	令66条 ^{※5} H12告1456
		根巻き柱脚	根巻き主筋の基礎への定着状況の確認	2条 ^{※1}	令66条 ^{※5} H12告1456
		埋込み柱脚	鋼材の埋込み深さの確認 鋼材の埋込部のかぶり厚さの確認	2条 ^{※1}	令66条 ^{※5} H12告1456

※1 設計施工基準上、直接的に明示されている基準ではありませんが、設計施工基準第2条に規定するとおり、品確法に規定する構造耐力上主要な部分及び雨水の浸入を防止する部分に係る建築基準法等の関係法令によるものとし、遵守すべき項目となります
以下、躯体検査・防水検査でも同様な取り扱いの項目がありますので、ご注意ください

※2 平成12年5月31日 建設省告示第1446号建築物の基礎、主要構造部等に使用する建築材料ならびにこれらの建築材料が適合すべき日本工業規格または日本農林規格および品質に関する技術的基準を定める件

※3 平成12年5月31日 建設省告示第1463号鉄筋の継手の構造方法を定める件

※4 昭和56年6月1日 建設省告示第1102号設計基準強度との関係において安全上必要なコンクリート強度の基準等

※5 平成12年5月31日 建設省告示第1456号鉄骨造の柱の脚部を基礎に緊結する構造方法を定める件

※6 平成12年5月31日 建設省告示第1464号鉄骨造の継手または仕口の構造方法を定める件

設計施工確認シート【解説】 (RC・S・SRC造 基礎検査-1)

RC・S・SRC造における地盤・直接基礎の確認は、以下のとおりとします

地盤	調査方法	①	<input type="checkbox"/> ボーリング調査	<input type="checkbox"/> 平板載荷試験	<input checked="" type="checkbox"/> スウェーデン式サウンディング調査	1	<input checked="" type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> その他 ()				
直接基礎	基礎形式	①	<input type="checkbox"/> べた基礎	<input type="checkbox"/> 独立基礎		2	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 該当	地盤改良	②	<input type="checkbox"/> あり	・補強方法検討書の確認	・地盤改良報告書の確認		
			<input checked="" type="checkbox"/> なし				

現場担当者
現場担当者がチェックを入れます

チェックがされていない場合には、検査時に現場担当者と確認のうえチェックを入れてください



確認ができたなら
チェックを入れてください

認定団体検査員



①- 1

地盤調査報告書の調査内容と、現場で行った地盤調査方法が一致しているかヒアリングしてください

また、地盤調査報告書には、地盤のデータがあることを確認してください

原則として建築物の4隅付近を含め、4点以上で計測することとされていますが、地盤調査結果が提出されていれば、敷地条件、建物条件に応じて、必要な調査（計測）が行なわれているものとみなすこととします

標準貫入試験の場合、提出されるべき資料は、ボーリング位置のわかる図面およびボーリング柱状図程度といたします

また、小規模建築物の基礎の設計の場合の調査箇所数は、スウェーデン式サウンディング調査の場合には、4隅付近を含め4点以上で行うことが原則となります

スウェーデン式サウンディング調査以外の場合は、実施する地盤調査方法や敷地条件に応じ、設計者及び地盤調査会社等と相談した箇所数であれば、4隅付近を含め4点以上を制限するものではありません

★注意★ 地盤調査報告書の代替として「現地調査チェックシート」で確認することはできません
上記シートは、一戸建における2階建て以下の木造住宅の場合のみ使用可能となりますのでご注意ください

①- 2

地盤調査報告書により、布基礎・べた基礎等の基礎選定に関する考察があることを確認してください

構造計算書による構造図で確認している場合には、考察は不要となります

★注意★ 地盤調査の考察の代替として「基礎設計のためのチェックシート」で確認することはできません
上記シートは、一戸建における2階建て以下の木造住宅でスウェーデン式サウンディング試験を行った場合のみ使用可能となりますのでご注意ください

②

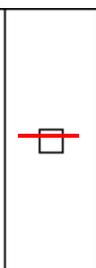
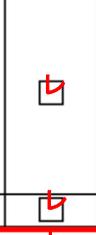
①により構造図または地盤調査報告書の考察による地盤改良の有無および改良方法を確認し、**地盤改良が必要な場合は、実地工事との整合性を地盤改良報告書またはヒアリングで確認してください**（地盤改良報告書は確認後返却してください）

また、**地盤調査報告書の考察と現場実施が異なる場合**（考察では改良ありだが実際は改良していない場合、考察と実地で改良方法が整合していない場合等）は、**住宅の規模等によって以下のように確認をします**

- ・建築基準法第6条第1項4号建築物→実地工事の基礎仕様を採用した根拠として①- 2とは別に、設計者又は建築士等の考察が必要
- ・建築基準法第6条第1項1・2・3号建築物→変更後の構造図が必要

設計施工確認シート【解説】 (RC・S・SRC造 基礎検査-2)

RC・S・SRC造における杭基礎・配筋・コンクリートの確認は、以下のとおりとします

杭基礎 <input type="checkbox"/> 該当 ③	杭種	<input type="checkbox"/> 鋼管杭 <input type="checkbox"/> 既製CON杭 <input type="checkbox"/> 場所打CON杭 <input type="checkbox"/> その他 ()	3	
	杭の仕様・施工確認	・杭工事施工結果報告書の確認 <input type="checkbox"/> 杭位置 <input type="checkbox"/> 杭頭レベル <input type="checkbox"/> 杭径 <input type="checkbox"/> 杭長		
	杭芯ずれの補強	<input type="checkbox"/> あり ・補強方法検討書の確認 <input type="checkbox"/> なし		
④	配筋	<input checked="" type="checkbox"/> 配筋の位置と形状 <input checked="" type="checkbox"/> 種類の確認 (ミルシート・メタルタガ) <input checked="" type="checkbox"/> 径・本数・間隔の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 定着長さの確認 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋端部フック処理 <input checked="" type="checkbox"/> 継手の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 貫通孔の補強	4	
	最小かぶり厚さ	<input checked="" type="checkbox"/> スラブ・非耐力壁 20mm 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 柱・梁・耐力壁 30mm 以上 <input checked="" type="checkbox"/> (土に接する) 柱・梁・スラブ・壁 40mm 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎 60mm 以上		
	圧接継手の品質確認	<input checked="" type="checkbox"/> 引張試験 <input checked="" type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 外観試験		
	コンクリート	配合計画書の確認 ・配合計画書の確認 <input checked="" type="checkbox"/> セメント種類 <input checked="" type="checkbox"/> 呼び強度	5	

現場担当者


認定団体検査員


③ 杭基礎の場合には、杭打ち施工記録／総括表・位置がわかるものを提示により確認してください

杭工事施工結果報告書等により、杭芯ずれの有無を確認します

芯ずれがある場合は、芯がずれた場合の補強方法が構造図および構造計算書に記載されていれば、その通りに施工されているか確認します

芯ずれが想定を超える場合、補強方法が構造図および構造計算書に記載されていない場合は、補強方法検討書を確認し、その通りに施工されているかを確認します

④ 構造計算により設計された構造図のとおり施工されているかの確認をします



設計施工確認シート【解説】 (RC・S・SRC造 基礎検査-3)

RC・S・SRC造におけるその他の確認は、以下のとおりとします

5	SRC造	柱脚	<input type="checkbox"/> 露出形式	・アンカーボルト					7	+	
		<input type="checkbox"/> 根巻き形式	<input type="checkbox"/> 材質	<input type="checkbox"/> 径	<input type="checkbox"/> 本数	<input type="checkbox"/> 均等な配置	<input type="checkbox"/> 定着長さ				
		<input type="checkbox"/> 根巻き形式	・立上り主筋					<input type="checkbox"/> 本数			<input type="checkbox"/> 定着長さ
		<input type="checkbox"/> 根巻き形式	鉄骨柱の埋込み長さ					<input type="checkbox"/> 埋込み部分の鉄骨のかぶり厚さ			

現場担当者



認定団体検査員



⑤ その他、設計施工確認シートに則り、必要事項の検査をします



設計施工確認シート【解説】(RC・S・SRC造 基礎検査-4)

RC・S・SRC造における書類の確認は、以下のとおりとします

基礎検査に必要な下記書類の有無の確認	検査結果
<input type="checkbox"/> 基礎伏図及び矩計図(断面図でも可)又は基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料(平面図・立面図等へ記載したもので可) <input type="checkbox"/> 構造図[建築基準法第6条第1項第1・2・3号建築物は必須] <input type="checkbox"/> 地盤調査報告書 ※1 <input type="checkbox"/> 考察(基礎形式の選択根拠) ※2	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合

※1 地盤調査報告書とは、以下の図書を指します

地盤調査報告書	設計者等による調査報告等
---------	--------------

 ※2 考察とは、以下の図書を指します

地盤調査報告書の考察	設計者等の考察	構造計算書により提出不要
------------	---------	--------------



⑥ 以下の確認をします (8ページと同じ)

基礎配筋検査で確認する図書

基礎配筋検査で確認する図書は、以下1. ~3. となります
 これらの図書は、ハウスプラスへの保険ご申請時(電子申請)にアップロードが必要となっています
 (内容によっては、これ以外にも必要な場合がありますので、設計施工確認シートに沿って確認してください)

- 地盤調査報告書として、次のいずれか
 - 地盤調査報告書
 - 現地調査チェックシート(※1)
(木造2F以下の戸建住宅の場合のみ可)
 - 設計者等による調査報告等
- 考察として、次のいずれか
(RC造などで構造計算している場合は不要です)
 - 地盤調査報告書の考察
 - 設計者等の考察
 - 基礎設計のためのチェックシート(※2)
(木造2F以下戸建かつSS試験実施済の場合のみ可)
- 基礎の状況に関する資料として、次のいずれか
 - 基礎伏図及び矩計図(断面図でも可)
 - 基礎の断面・配置・配筋状況がわかる資料(平面図および立面図等へ記載したもので可)
 - 基礎伏図及び構造図(建築基準法第6条第1項第1・2・3号建築物は必須)



※1 現地調査
チェックシート

※2 基礎設計のための
チェックシート



現地調査チェックシートの確認

「現地調査チェックシート」の確認は、以下のとおりとします

一戸建における2階建て以下の木造住宅の場合は、地盤の現地調査チェックシートに従って行った現地調査の結果、良好な地盤である事を確認できる場合は、地盤調査報告書及び考察が不要となります

申請図書に地盤調査報告書及び考察が添付されておらず、現地提出になっている場合、上記による代替の場合があります受領後、「地盤の現地調査チェックシート」の総合判定結果を確認、妥当性を確認してください

項目		チェック欄 内容等の記録		
		A	B	
 ハウスプラスすまい保険 / 現地調査チェックシート 【注意】一戸建てにおける2階建て以下の木造住宅に限る				
現地調査実施日	20 年 月 日	チェックシート作成日	20 年 月 日	
物件名		申込受付番号	- -	
届出事業者名		担当者		
現地所在地				
周辺の概況	<input type="checkbox"/> 市街地・畑地・山・丘陵地		<input type="checkbox"/> 水田・沼地跡・谷地	
周辺状況 建設地を中心に半径50m程度以内の目視調査を行う	周辺道路	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 舗装に亀裂、陥没、波打	
	近隣建物	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 建物基礎・外壁に亀裂・不同沈下	
	近隣工作物	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 擁壁・ブロック塀等に亀裂、段差、はらみ出し	
	川・池・水路等 <small>(小規模な排水溝を除く)</small>	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 調査範囲にあり	
建設地の既存建物	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 不同沈下 (異常あり)		
敷地状況 ①山・丘陵地傾斜地の造成地 ②平地の整地	切土・盛土	<input type="checkbox"/> 切土部	<input type="checkbox"/> 切盛部・盛土部・不明	
	造成年数	<input type="checkbox"/> 造成後10年以上	<input type="checkbox"/> 造成10年未満・不明	
	擁壁	擁壁高さ	<input type="checkbox"/> 擁壁高さ1m未満	<input type="checkbox"/> 擁壁高さ1m以上
		建物との離れ	<input type="checkbox"/> 擁壁高さ1.5倍以上	<input type="checkbox"/> 擁壁高さ1.5倍未満
②平地の整地 軟弱さ	整地年数	<input type="checkbox"/> 5年以上	<input type="checkbox"/> 5年未満・不明	
	基礎下部の客土の厚さ	<input type="checkbox"/> 客土50cm未満	<input type="checkbox"/> 50cm以上	
	軟弱さ	<input type="checkbox"/> 右記の事象は見受けられない	<input type="checkbox"/> 鉄筋が容易に差し込める <input type="checkbox"/> スコップで容易に掘れる車等による振動を体感する	
ビル・工場等の大規模な既存建物の解体	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり・不明		
総合判定		一項目でも「B」が選択された場合は地盤調査を行う		

総合判定において、一項目でもBが選択された場合は、地盤調査を行う必要があります

全ての項目にAまたは、施工時に岩盤等の支持層が確認できる場合は地盤調査を行わなくてもよいこととなります

基礎設計のためのチェックシートの確認

「基礎設計のためのチェックシート」の確認は、以下のとおりとします

地盤については、地盤調査報告書の考察等のおりの地盤であることを確認する必要がありますが、場合によっては、地盤調査報告書自体に考察がない場合、設計者による考察を提出していただく必要があります

スウェーデン式サウンディング試験を実施した一戸建における2階建て以下の木造住宅においては、ハウスプラスにて準備している「基礎設計のためのチェックシート」にて基礎設計の考察とすることができます

チェックシートの使用条件に当てはまらない、又はチェックシートにより専門家へ相談等と判定された場合は、設計者による基礎設計の考察を別途提出していただく必要があります

瑕疵 ハウスプラスすまい保険／基礎設計のためのチェックシート			
<small>＜注意＞スウェーデン式サウンディング試験を実施した一戸建における2階建て以下の木造住宅に限る</small>			記入例
地盤調査実施日	平成 23年 12月 22日	チェックシート作成日	平成 23年 12月 22日
物件名	ハウス 太郎新築住宅	申込受付番号	1 - 11 - XXXXX
届出事業者名	ハウス住宅	事業者届出番号	XXXXX
		担当者	ハウス 花子
現場所在地	東京都港区芝〇〇丁目××番		
地盤調査会社名	ハウス地盤株式会社	電話番号	03-〇〇〇〇-XXXX
		担当者(地盤 太郎)	
一次判定 1~8に該当する項目を口チェック			
1	高さ1m以上の擁壁あり(擁壁と建物離れが擁壁高さの1.5倍未満)		<input type="checkbox"/>
2	傾斜地の造成で切盛造成・盛土造成・不明		<input type="checkbox"/>
3	経過年数10年未満の50cm以上の盛土(経過年数の時期が不明のものを含む)		<input type="checkbox"/>
4	解体残物等異物混入の敷地		<input type="checkbox"/>
5	スウェーデン式サウンディング試験を実施していない		<input type="checkbox"/>
6	木造以外		<input type="checkbox"/>
7	3階建て以上		<input type="checkbox"/>
8	一戸建の住宅以外である(共同住宅、長屋、併用住宅等)		<input type="checkbox"/>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 1~8のうち一項目でも該当している場合、このシートを使用することができません </div>			
1~8のうち一項目でも該当する場合		➡	専門家へ相談
全ての項目に該当しない場合		➡	二次判定へ
二次判定 イ~ロに該当する項目を口チェック			
地盤調査の計測結果		対応する基礎形式等	
イ	計測点全てで自沈層が全くない	<input type="checkbox"/>	布基礎
ロ	計測点全てが「0.75kNゆっくり自沈」以上の場合で、各計測点のデータがほぼ同一	<input checked="" type="checkbox"/>	べた基礎
ハ	深さ2m未満に「0.50kN自沈」以下が合計して50cm以上ある	<input type="checkbox"/>	地盤補強等の実施
ニ	深さ2mで深10m程度の間「0.50kN自沈」以下が連続100cm以上又は合計で200cm以上ある(深さ2mで深5mの間自沈層がない場合を除く)	<input type="checkbox"/>	(別の基礎形式とする場合 専門家へ相談しても可)
ホ	上記イからニに該当しない計測結果の場合	<input type="checkbox"/>	専門家へ相談

お問い合わせ先

検査、その他事務手続き等においてご不明な点がございましたら、
認定団体事務局までお問い合わせ願います

お問い合わせはこちらまでお願いします

認定団体事務局：一般社団法人 全国住宅産業協会

TEL：03-3511-0611

